

# Atsuko Temma Violin Concert

**天満敦子** (ヴァイオリン) *Atsuko Temma, Violin*

東京都出身。6歳よりヴァイオリンをはじめ、小学校時代、NHK・TV「ヴァイオリンのおけいこ」に出演。講師の故江藤俊哉氏に資質を認められて音楽家への道を志した。東京芸術大学在学中に日本音楽コンクール第1位、ロン・ティボー国際コンクール特別銀賞等を受賞して注目を浴びる。海野義雄、故レオニード・コガン、ヘルマン・クレッパースらに師事。

1992年「文化使節」として訪れたルーマニアで、「ダヴィッド・オイストラフ以来の感激」(同国文化大臣)と高い評価を受け、公演は空前の成功を収めた。翌年この訪問が縁で巡り会った同国の「薄幸の天才作曲家」ホルムベスクの「望郷のバラード」を日本に紹介、以後この作品は天満敦子の代名詞とさえ言えるほどのクラシック界異例の大ヒット曲となった。憂いをおびた美しい旋律とともに、曲に秘められたエピソードも話題をよんだ。

これまで多数のCDを発売。「望郷のバラード」との巡り合い10周年を記念して2003年秋に発売された「Balada(望郷のバラード)」は高い人気を得て、ロングセラーを記録している。2004年1月放送の「吉岡秀隆シルクロード浪漫」(東海テレビ開局45周年記念特番)では小林重星が作曲したテーマ曲の演奏を担当。同時にCD「シルクロード浪漫」を発売。2005年12月「ねむの木の子守歌」が第47回日本レコード大賞企画賞を受賞という栄誉に輝いた。

2006年9月には「旅へのロマン」をテーマにしたCD「ツイゴイネルワイゼン」を、2007年6月には「愛」をテーマにしたCD「愛のあいさつ」をリリースし、これらもまたベストセラーを記録している。

また2005年、2008年には東京芸術大学時代の同級生、小林英之(オルガン)と共演してCD「祈り」、「祈りII」を録音。これらのCDも評判を呼んで大ヒットを記録した。

2011年に母の故郷・南相馬が被災してからは「日本うた」に心の傾斜を深め、CD「ふるさとのうた」を翌年、「旅人のうた」を2015に制作、感動を呼んでいる。



**酒井愛可** (ピアノ) *Aika Sakai, Piano*

国立音楽大学器楽学科ピアノ科卒業。同年オランダ・ユトレヒト音楽院に入学。在学中コンサートへボウをはじめ、オランダ各地でリサイタルをひらく。また室内楽や歌曲伴奏のほか、国内オーケストラと共演した。オランダ国家演奏家資格を得てブリュッセル王立音楽院修士課程に入学。同音楽院を首席で修了。帰国後リサイタルを開く。日本歌曲振興会での初演演奏や二期会オペレッタ研究会及びオペレッタ座の公演など、声楽の共演ピアニストとして数多くのコンサートに出演。デジレ・ランカトーレ氏との演奏はイタリア国営放送にて放送された。また天満敦子氏とは国内各地で共演を重ねている。昭和音楽大学非常勤講師。

天衣無縫、個性味あふれる語り口と、ステージにおける強烈な自己投入が、彼女の魅力と言われるが、その裏に秘められた深い譜読みと、絶えざる研鑽の日々を知る人は少ない。東邦音楽大学大学院教授。松本市四賀音楽村村長。

使用のヴァイオリンはアントニオ・ストラディヴァリウス晩年の名作。

©Emi Nakamura



**レコード  
芸術誌  
特選盤**  
**好評発売中!**

戦没画学生の絵に捧げる、  
哀切のヴァイオリニスト天満敦子の調べ...

**天満敦子 in 無言館**

天満敦子 (ヴァイオリン) 【無伴奏】  
CD: KICC1275 (キングレコード) ¥3,000 (税込)



●アダージョ〜無伴奏ソナタ第1番より(パッハ) ●鳥の歌(カカロニア民謡/カザルス編) ●トロイメライ(シューマン) ●独奏ヴァイオリンのための譚歌五色(和田誠) ●叱られて(弘田龍太郎) ●知床旅情(森繁久彌) ●からたちの花(山田耕筈) ●望郷のバラード(ホルムベスク) ●ジュピター(ホルスト) ●花は咲く(菅野よう子/和田薫編)

録音: 2016年5月24日、25日、6月15日 上田市、無言館

**戦没画学生慰霊美術館「無言館」**

1997年、上田市塩田平の丘の頂に開館。日中戦争・太平洋戦争に出征、志半ばに戦死した画学生百余名、七百余点の遺作、遺品を収蔵する。天満敦子は、初めて訪れて以来、18年間に渡り毎秋コンサートを開催し続けている。